

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・ いばらきの花振興協議会（茨城県）
- ・ 協議会構成団体

茨城県農林水産部産地振興課，公益社団法人茨城県農林振興公社，茨城県花き園芸協会，全国農業協同組合連合会茨城県本部，花キューピット茨城支部，公益社団法人日本フラワーデザイナー協会茨城支部 等

- ・ 主な取組

### （１）花文化展示会

#### ①取組内容

来場者への県産花きへの理解度向上を目的に、10月から2月にかけて、4回、花文化展示会を開催した。

#### ②参加者の反応

県産花きの認知度を高め、花の癒し効果をアピールすることができた。年齢を問わず、楽しかった・また参加したい等の意見が多く見られた。

#### ③今後の取組の予定

平成 27 年度は、いばらき花フェスタフラワーディスプレイ展、ハンギングバスケット・コンテナガーデン展示として 10 月に開催予定。



テーブルコーディネート展の様子

### （２）花育体験の実施

#### ①取組内容

花育体験実施者の花きへの興味の向上を目的として、県内全域の花育を希望する保育所、幼稚園、小学校等を対象に、7月から2月にかけて実施した。計 94 回、参加者 2,348 名であった。

#### ②参加者の反応

参加者からは、楽しかった、またやってみいたい等の声が聞かれ、指導者アンケートでも継続を望む声が多かった。

#### ③今後の取組の予定

平成 27 年度は、保育所、幼稚園、小学校等で 25 回程度実施予定。



花育体験教室の様子

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

### ・ 栃木県花き振興協議会（栃木県）

### ・ 協議会構成団体

一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会、一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会花き部会、全国農業協同組合連合会栃木県本部園芸部、（株）宇都宮花き、とちぎ花センター、栃木県生花商協同組合、栃木県農政部生産振興課

### ・ 主な取組

#### （１）花育体験及び福祉園芸の実施

##### 【小学生を対象としたプランターへの寄せ植え体験】

##### ①取組内容

- ・ 実施時期：平成 27 年 1 月 13 日、16 日
- ・ 対象者：小山市の小学生（4～6 年生 108 名）
- ・ ハングングバスケット協会から講師を招き、葉牡丹、ノースポール、ビオラなどの花壇苗を使用し、プランターへの寄せ植えを実施した。
- ・ 寄せ植え体験の実施後、水やり方法や、花柄摘みなど管理方法を説明した。

##### ②参加者の反応

- ・ 初めて花の苗を植える児童が多く、慣れない作業に手間はかかったが、熱心に取り組んでいた。
- ・ 管理方法をよく聞いたので、大切に管理し長く楽しみたいとの声があった。
- ・ アンケートの結果では、今後も参加したいとの回答が大多数だった。

##### ③今後の取組の予定

- ・ 平成 27 年度は、花育を県内の各地域でも推進し、実施する予定。

##### 【小中学生を対象としたフラワーアレンジメントの実施】

##### ①取組内容

- ・ 実施時期：平成 26 年 11 月 1 日、2 日
- ・ 対象者：小中学生 100 名
- ・ 都内のイベントスペースを利用し、栃木県産の花を使用してフラワーケーキ作りを実施した。
- ・ 花の種類、栽培方法の説明や、栃木の花の産地紹介なども実施した。

##### ②参加者の反応

- ・ 花に触れる機会がほとんどなかった小中学生が、花に直接触れ、アレンジすることで、興味をもってもらえた。

##### ③今後の取組の予定

- ・ 平成 27 年度は、イベント（いい夫婦の日、クリスマスなど）にあわせた花育を実施する予定。



寄せ植え体験の様子



栃木県産花きを使用したフラワーケーキ

平成 26 年度花育実施状況 実施回数：15 回 参加者：853 名

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・ 群馬県花き振興協議会（群馬県）

- ・ 協議会構成団体

群馬県、群馬県園芸協会、全国農業協同組合連合会群馬県本部

群馬県生花商業協同組合、群馬県中央園芸株式会社

- ・ 主な取組

### （１）学校・福祉施設等での花育体験推進（プランター作成）

#### ①取組内容

花育による若年層への花き文化の振興を目的に、小中学生を対象としたプランター作成を実施した。

平成 26 年 9 月から 10 月の間、群馬県吾妻郡中之条町の小中学校 6 校それぞれを会場に、「中之条町花の会」の会員をサポーターに招いて合計 6 回の花育体験を実施した。

合計 1,176 人の児童・生徒の手により 1,400 鉢のプランターが作られ、中之条町を色とりどりの花が飾った。

#### ②取組による成果、参加者の反応

生徒は、自ら植えた花の管理と生長の喜びから花への関心が高まった。また、作成したプランターの中の条町広域での飾花は、地域住民への花育活動の理解にも繋がった。

#### ③今後の課題、取組の予定

今後は、花育の定着を図るため、中之条町や「中之条町花の会」との連携を高める。

平成 27 年度は、群馬県みどり市の小中学校生徒を対象にフラワーアレンジメント教室の開催による花育に取り組み、群馬県内での花育の啓発と定着を図る。



写真１ 「中之条町花の会」のサポーターの説明を熱心に聴く児童



写真２ プランターの運搬にも笑顔が浮かぶ共同作業



## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

### ・さいたまの花普及促進協議会（埼玉県）

### ・協議会構成団体

埼玉県、埼玉県花き園芸組合連合会、埼玉県植木生産組合連合会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部、埼玉県花き園芸市場協会、埼玉県生花商組合連合会、（公社）日本フラワーデザイナー協会埼玉県支部、埼玉県インドアグリーン協会

### ・主な取組

#### （１）物流の効率化の実証

##### ①取組内容

埼玉県は、ゆりの産出額が全国第２位（平成 25 年農業産出額）である。その中でも深谷市は全国有数のゆりの産地で、LA ゆりを中心に年間 15 万箱（平成 25 年度実績）が出荷されている。しかし、ゆりの出荷規格は、産地や生産者組合ごとに異なっており、物流面の



【複数の旧規格】

課題として、様々な規格のダンボールを積載することによって、低積載率の輸送車両の運行や荷捌きの複雑化によるコストの増大があげられる。

そこで、効率的な物流の実現を目指し、深谷市内 3 組合の規格統一（14 規格→4 規格）による物流改善実証試験を実施した。

##### ②取組による成果、参加者の反応

実証試験結果を踏まえ、3 組合が規格を統一した段ボールを作成し、平成 27 年度から新規格段ボールでの出荷をすることが決まった。

##### ③今後の課題、取組の予定

時期により、出荷量の増減がある。小ロットの出荷時には、他産地他品目との混載による積載率の向上も検討する必要がある。

#### （２）花文化展示会の実施

##### ①取組内容

主に埼玉県産の花と植木を使用したフラワーデザイン、ハンギングバスケット、庭づくり、いけばななどの展示に加え、著名人（ニコライバークマン氏等）を招いての講演会などを含めた花文化展示会を 4 回開催し、約 9,000 人の来場者に暮らしの中で楽しむ花と緑を提案するとともに、埼玉県花植木産業及び文化を発信した。

##### ②取組による成果、参加者の反応

埼玉県で生産されている花植木を多くの県民に知ってもらうことができ

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

たとともに、展示や講演会に参加してもらった来場者に花を飾る意識を喚起することができた。（来場者の約 9 割が花を飾ろうと思ったとのアンケート結果を得た。）

### ③今後の取組の予定

平成 27 年度は 2 回の花文化展示会を開催し、さらに多くの県民に花と緑のある暮らしを提案する予定。



【クリスマスに向けた花展示】



【ガーデンの展示】



【ハンギングバスケットの展示】



【いい夫婦に向けたアレンジ展示】

### （３）花育・福祉園芸体験の開催

#### ①取組内容

小中学生等を対象に、花と緑に触れる機会を提供することによって新たなユーザーを育成していくとともに、大人を対象に、花の癒し効果によるストレス改善やリラックス効果を体験してもらい、暮らしの中に花を取り入れてもらうきっかけを作るために花育・福祉園芸体験を開催した。

#### ②取組による成果、参加者の反応

花育・福祉園芸体験を合計 139 回開催し、小中学生 3,460 人および大人 541 人が参加した。

参加者の反応については、花育体験において、花に触れることが楽しいと感じた体験者は全体の 98%、花や緑に興味をもった体験者は全体の 94%であった。また、福祉園芸体験において、花に触れることで癒し効果（ストレス解消になった・気持ちが安らいだ・幸せな気持ちになった）があったと感じた体験者は全体の 98%、今後も花と緑に触れようと感じた体験者は全体の 98%であった。

また、花育体験において、体験者の子供だけでなく、親や学校の先生の

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

興味・関心の高まりも感じられた。

### ③今後の取組の予定

平成 27 年度も約 3,000 人を対象とした花育体験および福祉園芸体験を実施する予定である。

また、福祉園芸体験については、福祉施設を対象とした取組も行う予定である。



【花育体験】



【花育体験】



## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

### ・千葉県花き振興地域協議会（千葉県）

### ・協議会構成団体

千葉県、千葉県花き園芸組合連合会、千葉県植木生産組合連合会、（公社）千葉県園芸協会、全農千葉県本部、（株）第一花き柏支社、（一社）日本生花通信配達協会千葉支部

### ・主な取組

#### （１） 植木伝統樹芸技術の実演及び装飾展示

##### ① 取組内容

・本県は全国有数の植木生産県で、本県で編み出された庭木を作る伝統的な造形技術は、海外からも注目され、低迷する造形樹の国内需要の喚起と技術継承を図るため、千葉県植木まつり会場において、千葉県植木伝統樹芸士による樹芸技術の実演会を開催(平成 26 年 10 月 25 日、26 日、(株)東金植木流通センター、来場者数 800 名)。



樹芸実演の様子

##### ② 取組による成果、参加者の反応

・県が認定する伝統樹芸士が造形樹を生み出す技術の解説や、実演を行ったことにより、多彩な県産植木の魅力を多くの来場者が認知。来場者からは目の前で披露される見事な樹芸技術の数々に感嘆の声が上がり、造形樹の価値や伝統技術に対する理解が増進。

##### ③ 今後の課題、取組の予定

・本県植木生産の課題は、国内外における需要の拡大や計画生産体制の構築。海外でも高い評価を得ている県産植木の PR を行うため、多くの来場者が見込める会場で、伝統技術の認知度向上のための実演会や PR 活動を展開する予定。

#### （２） 県産花き需要拡大シンポジウムの開催

##### ① 取組内容

・県産花きの需要拡大を図るため、県内のトップフローリストによる花いけデモンストレーションと生産者を交えた花きの魅力を語る消費者との意見交換会を開催（平成 27 年 1 月 11 日、三越伊勢丹三越千葉店(フラワーフェスティバル会場)、来場者数 100 名)。



シンポジウムの様子

##### ② 取組による成果、参加者の反応

・千葉県産の花を使ったデモンストレーションによる花のいけ方や楽しみ方など花きの魅力を、直接フローリスト、生産者から消費者に伝えることにより、県産花きへの理解増進と需要を喚起。また、意見交換では花を長く持たせる方法や花の選び方など参加者から多くの質問がよせられ、消費者のニーズを把握。

##### ③ 今後の課題、取組の予定

・県産花きの需要拡大のためには、消費者への花きの魅力を伝える機会づくりが必要。今後は、県産花きの需要拡大を行うため、生産者や小売である県内の花店と連携し、消費者への県産花きの魅力を伝え、理解を深める機会づくりを行っていく予定。

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・ 東京都花き振興協議会（東京都）
- ・ 協議会構成団体

東京都、東京都花卉園芸組合連合会、東京都生花商連合組合、（一社）日本花き卸売市場協会、花き部仲卸組合、花き事業協同組合、（一社）日本生花通信配達協会、（公社）日本フラワーデザイナー協会

- ・ 主な取組

### （１） 食卓に花のある暮らしを紹介するための展示（花文化展示会）

#### ① 取組内容

物日だけでなく日常の花の需要促進が求められていることから、食卓に花のある暮らしの普及を図るため、週末に花を買って帰宅することを促すためのパンフレット（900 部）を作成し、来場者へ配布。また、展示をテーブルウェア・フェスティバル会場（東京ドーム）で開催、来場者へ提案。

#### ② 取組による成果

食卓に花のある暮らしを提案する展示及びパンフレットの配布と共に、デモンストレーションを開催したことにより、より身近に週末の食卓での花飾り提案を P R することが出来た。

来場者に向けて行ったアンケートでも、デモンストレーションを見た内 95%以上が花飾りの参考になったとの回答を得た。（有効回答数 449 件）

#### ③ 今後の取り組みと課題

アンケート回答より、日常的に卓上花を飾る割合は全体の半数程であることが分かった。また、日常自宅に花は飾りつつも、テーブルには飾らないと答えた層のうち、半数以上の 51%がその要因として、限られた食卓スペースに上手く飾れない事を理由として挙げたことから、今後は限られたスペースで、日々の食卓風景になじみやすい花材・商品の提案が必要である。



デモンストレーション実施風景



装飾提案展示



## (2) フラワーデザインコンテストの開催

### ① 取組内容

花や緑を楽しむ方々がその関心をより高め、感性豊かな才能を発掘する場として、フラワーデザインコンテストを開催した。テーマは、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック気運を高めるとしてビクトリーブーケとし、会場及び開催時期については、オリンピック会場が多く予定される夏のお台場にて実施を行った。参加募集については、都内生花店を通し広く参加を募った。



会場風景

### ② 取組による成果

最終出場者数は 95 名となり、フラワーデザインコンテストとしては、大きな規模の開催となった。プロアマ問わず門戸を広げた事で、プロは団体の垣根を超え、アマはプロと肩を並べて日頃の成果を発表する場となりこれまでにないコンテストとなった。また、日本経済新聞を始め、メディアに取り上げられたこともあり、実施に対する反響も大きく、ビクトリーブーケに対する関心を高める事に寄与できた。さらには、開催地を都内商業ビル内としたことにより、多くの方々の目に触れる事ができ、花の魅力とフラワーデザインの素晴らしさを伝える事ができた。

### ③ 今後の取り組みと課題

2020 年のオリンピック開催までに、より多くの方々に参加を募り、新たな才能の発掘に努める。同時に、開催の盛り上がりを通して、ビクトリーブーケをはじめとする、フラワーデザインの素晴らしさを広く伝える役割を果たす必要がある。



金賞作品

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・神奈川県花き・植木振興地域協議会（神奈川県）
- ・協議会構成団体

（一社）神奈川県園芸協会、神奈川県花き園芸組合連合会、神奈川県植木生産組合連合会、神奈川県花き卸売市場連合会、神奈川県花き生花小売商協同組合、日本ガーデンセンター共同機構神奈川県支部、日本ハンギングバスケット協会神奈川県支部、神奈川県（農業振興課、農業技術センター、フラワーセンター大船植物園）

- ・主な取組

フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催  
学校・福祉施設等での花育体験推進

### （１）花文化展示会

#### ①取組内容

- ・エクステリアからインテリアまで県産花き・植木を使った展示。
- ・横浜市内住宅展示場で平成 27 年 3 月 7～8 日、14～15 日に開催。
- ・エクステリアについては、展示場空きスペースを利用して、県産の植木（約 90 種・品種）と花壇苗を使った見本庭園、県産植木と花壇苗を使った大型の寄せ植えコンテナを設置。
- ・インテリアについては、個別住宅展示場内で、県産切り花を使ったウェルカムフラワー（フラワーアレンジメント）と一輪挿しを展示（48 展示場で実施）。
- ・花育体験（大人向け）を同時開催。



県産植木を使用した見本庭園



県産切り花を使用したウェルカムフラワー

#### ②取組による成果、参加者の反応

- ・期間中の入場者数は約 2,000 組。
- ・花き・植木の購入意欲が高いと思われる消費者層に県産の花き・植木の生産状況を PR することができた。
- ・アンケートにより、展示により花や植木を生活に取り入れる動機付けとなったことを確認した。

#### ③今後の課題、取組の予定

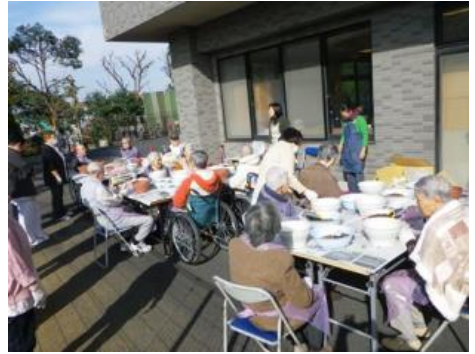
- ・開催時期、場所について検討。

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

### (2) 福祉園芸体験の実施

#### ①取組内容

- ・高齢者福祉施設（介護老健）を対象とした園芸体験をモデル事業として県内 5 施設（73 名）で実施（平成 26 年 11 月）。
- ・講師は NPO 法人日本園芸療法研修会に依頼。
- ・体験内容は県産花苗を使った寄せ植え作成。花材は実施施設近隣の生産者から調達。
- ・実施結果を踏まえて、シンポジウムを開催。



園芸体験の様子

#### ②取組による成果、参加者の反応

- ・実施後に、作成した寄せ植えの状態について会話が增え、花の世話について積極的に行動するなど、参加者に対する好影響が確認できた。
- ・施設における県産花きの利用について需要を確認し、ノウハウを蓄積した。



作成した寄せ植え

#### ③今後の課題、取組の予定

- ・介護老人保健施設以外にも対象施設を拡大して実施する。



## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

### ・ 山梨県花き振興協議会（山梨県）

### ・ 協議会構成団体

山梨県花き園芸組合連合会（生産者団体）、全国農業協同組合連合会山梨県本部、（株）山梨園芸市場、（株）甲府中央花市場、山梨県生花商業協同組合（花き小売り団体）、日本フラワーデザイナー協会山梨県支部（実需者）、（株）ハイジの村（県立フラワーセンター指定管理者）、山梨県農政部

### ・ 主な取組

#### （１）取組名 小学校での花育体験の実施

##### ①取組内容

フラワーアレンジメント体験を通じ、花きの利用や魅力の理解浸透を図り、花きの需要拡大を目的に、小学校での花育体験を実施。

（12月9日開催、甲府市立千塚小学校

2クラス 59名）

・ 花育体験延べ回数 2回

・ 花育体験延べ人数 159人

##### ②取組による成果、参加者の反応

アンケート調査で、「体験が楽しかった」や「またやってみたい」等との意見があり、花への理解や興味・関心が進んだ。

家に持って帰るときも大事に抱えていく姿に、優しい気持ちが育まれたと感じた。

##### ③今後の取組の予定

・ 各市町村の教育委員会を通じて公募を行い、実施学校を増やす予定。



千塚小でのアレンジ体験

#### （２）取組名 やまなし花フェスタ2014の開催

##### ①取組内容

花きの魅力を発信し、花への関心を高め、本県花きの需要拡大を図るとともに、花き産業並びに花き文化の発展に資することを目的に開催。

○開催期間 平成26年11月21日～23日

- ・ 県産花きを利用した装飾展示
- ・ 花文化の展示（アレンジフラワー）
- ・ 講演会の開催

##### ②取組による成果、参加者の反応

3日間で来場者が928人と盛況であった。来場者からは、「こんなに多くの種類の花が県内で生産されているとは知らなかった」と県産花きのPRに繋がった。

##### ③今後の取組の予定

県産花きのPRと消費拡大に向け、継続的に実施していく予定。

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・ 長野県花きイノベーション推進協議会（長野県）
- ・ 協議会構成団体

長野県（農政部園芸畜産課、農業技術課、野菜花き試験場）、全国農業協同組合連合会長野県本部、J A長野県営農センター、南信ハウスカーネーション組合、長野県鉢花園芸組合、日本ばら切花協会長野県支部、長野県洋らん組合、長野県生花商業協同組合、一般社団法人長野県原種センター

- ・ 主な取組

### （１）カーネーション・トルコギキョウ生産技術交流会

#### ①取組内容

- ・ 夏秋期を中心に当県の生産量が全国第 1 位であるカーネーションとトルコギキョウについて、カーネーションは愛知県（生産量全国第 2 位）及び静岡県（同 8 位）と、トルコギキョウは熊本県（同 2 位）及び福岡県（同 3 位）と連携して、国産品の特徴や優位性を活かした周年供給体制について検討するため、以下のとおり生産、販売関係者による交流会を実施した。

○カーネーション交流会 平成 27 年 12 月 3 日～ 4 日

出席者：長野県 3 名、愛知県 6 名、静岡県 4 名

○トルコギキョウ交流会 平成 28 年 2 月 18 日～20 日

出席者：長野県 2 名、熊本県 6 名、福岡県 4 名

#### ②取組による成果

- ・ 県外産地の関係者、生産者と直に意見交換やほ場見学をすることにより、当該産地における品目推進の方向性や技術レベル、課題等を理解することができた。

また、先方から産地間連携に係る具体的な提案（県オリジナル品種のリレー出荷等）もなされた。

- ・ 上記により、県外産地との連携に向けて、本県における技術、販売面での課題が明らかとなった。
- ・ 出席した専門家（県農業革新的支援専門員）により、県外産地の動向や連携に際しての課題等について県内農業専門誌等で報告した。

#### ③今後の取組の予定

- ・ 平成 27 年度については、平成 26 年度の課題整理に基づき、花き市場を介した連携について各県との具体的な協議に入るとともに、周年を通じた品質向上、安定生産を目指して定期的な交流会を開催する予定。



静岡県内で開催したカーネーション  
品種検討の様子

## 平成 26 年度国産花きイノベーション推進事業 実施事例

- ・ ふじのくに花の都しずおか推進協議会（静岡県）
- ・ 協議会構成団体

静岡県、静岡県花卉園芸組合連合会、静岡県鉢物生産振興会、静岡県花き新品種育成研究会、静岡県花き市場連合会、NPO 法人花咲くしずおかフラワーネットワーク会議、静岡県花の会連合会、静岡県華道連盟

- ・ 主な取組

### （１）企業や介護施設における花と緑の活用推進

#### ①取組内容

暮らしの様々な場面での花と緑の活用を推進するため、ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクールを実施した。

コンクールの受賞者は、1 月 19 日(月)開催の県民大会において表彰するとともに、優良事例集(5,000 部)としてとりまとめた。

《概要》

部 門：Ⅰ 花を取り入れた生活の提案部門

- ① 企業・オフィスの部 ② 飲食店・宿泊施設の部
- ③ 病院・福祉施設の部

Ⅱ 花と緑にあふれた美しい地域づくりの部門

- ④ 学校花壇の部 ⑤ 地域花壇の部 ⑥ オープンガーデンの部

募 集：7 月 2 日(水)～11 月 4 日(火)

審 査：11 月 27 日(木)

応 募：144 点（①11 点、②11 点、③13 点、④20 点、⑤66 点、⑥23 点）

受 賞：各部とも最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、優良賞 3 点

計 36 点(静岡県知事賞)

審査員特別賞 1 点(④学校花壇の部)



作成した優良事例集

#### ② 取組による成果、参加者の反応

県民大会会場では優良事例の取組を紹介し、また、作成した優良事例集を県内の花緑関係団体や商工観光関係団体に配布することで、参加者等の今後の取組の参考となっている。

また、病院・福祉施設の部で最優秀賞を受賞した、市立御前崎総合病院（御前崎市）が、緑化推進運動において顕著な功績のあった個人又は団体に贈られる「平成 27 年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞し、新聞で報じられるなど他の模範となっている。

#### ③今後の課題、取組の予定

平成 26 年度に新設した、事業所を対象とした「Ⅰ花を取り入れた生活の提案部門」の応募点数が伸び悩んだため、平成 27 年度は積極的な PR に努め、実施事業所の掘り起こし及び拡大に取り組むこととしている。